

モニタリング結果報告書（平成24年度下半期）

施設	音楽堂
指定管理者	公益財団法人神奈川芸術文化財団
指定期間	H23. 4. 1 ～ H28. 3. 31
施設所管課	文化課 ( )

1 今期の指定管理者の管理運営状況（2～10の結果を踏まえた判定）

**B**

<判定理由>

事業面では、主催公演に加えて県内小学校へのアウトリーチ活動など、多彩な事業を実施し大人から子どもまで幅広く、芸術文化の鑑賞の普及活動を実施しており、施設管理・運営面では老朽化などの問題に適切に対処するなど、全体的に良好な管理運営状況であったと認められるため、B判定とした。

- A：提案を上回る取組みを実施し、極めて良好な管理運営状況である。  
 B：提案どおりに取組みを実施し、良好な管理運営状況である。  
 C：提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、一部工夫が必要な面がある。  
 D：提案どおりに取組みを実施していない。また、提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、抜本的な改善が必要である。

2 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	確認方法			指導等の有無	備考（指導事項等）
			月報確認	現場確認	電話確認		
10月	11月9日		○	○	○	無	10/8公演「音楽堂で聴く聲明」、10/14公演「世界の音楽 韓国音楽歌い語るソリの世界」をモニタリング。業務は適切に実施されていた。
11月	12月10日		○	—	○	無	月報等によりモニタリング。業務は適切に実施されていた。
12月	1月10日		○	○	○	無	12/9公演「メサイア」、現場確認等によりモニタリング。業務は適切に実施されていた。
1月	2月8日		○	—	○	無	月報等によりモニタリング。業務は適切に実施されていた。
2月	3月8日		○	—	○	無	月報等によりモニタリング。業務は適切に実施されていた。
3月	4月10日		○	—	○	無	月報等によりモニタリング。業務は適切に実施されていた。

3 指定管理者が提案した取組み等の実施状況

	提案内容	実施状況
1	施設維持(1)開館日・時間についての柔軟な対応	・休館日の臨時開館を3日、早朝(午前8時台)からの開館を24日間行い、お客様のニーズに応じている。

	提案内容	実施状況
2	施設維持(2)歴史ある音楽ホールを活用しつつ継承する施設管理の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種定期保守点検を的確に実施。</li> <li>・清潔感の向上に努めるべく、利用者・来館者の視点に立った清掃モニタリングを実施した。</li> <li>・舞台音響設備三点吊りマイク装置更新工事、楽屋等カーペット更新工事、窓ガラス更新工事（一部）、客席座面更新工事（一部）、屋上防水補修工事（一部）等を実施し、施設設備の長寿命化と居心地の向上に貢献した。</li> <li>・その他、雨漏りへの対応、女性客用トイレの詰まり対応など、細かな施設設備の不調、不具合についても速やかに対応し、利用者・来館者に快適な空間を提供できるよう職員一同日々対応している。</li> </ul>
3	文化事業(1)県民に開かれた音楽芸術活動及び鑑賞の拠点として、木のホールの音響と空間を活かす。	<p><b>【10月】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第19回神奈川国際芸術フェスティバル参加公演として日本音楽の源流のひとつ、声明を新曲創作を交えて紹介する。「音楽堂で聴く声明 四箇法要一花びらは散っても花は散らない」を実施。出演は、声明の会・千年の聲（天台声明・七聲会／真言聲明・迦陵頻伽聲明研究会）、構成・演出：田村博巳。作曲（委嘱初演）：宮内康乃。入場者数921人。</li> <li>・第19回神奈川国際芸術フェスティバル参加公演として韓国の伽倻琴を伴う歌の音楽を取り上げ、「世界の音楽—韓国音楽 歌い語るソリの世界」を実施。出演は、池成子（伽倻琴・唱）ほか18名、司会：植村幸生（東京芸術大学教授・民族音楽学）。入場者数687人。</li> <li>・第52回「音楽堂おかあさんコーラス」（共催）。県内で活動する女声コーラス団体なら誰でも参加できる開かれた大会。実行委員会主催で4日間実施し、参加団体155団体、のべ3,700人が参加。</li> </ul> <p><b>【11月】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「第27回ヨコハマ・コンペティション」（共催）。神奈川県芸術舞踊協会の主催で、クラシックジュニア1、2部門、クラシックプチジュニア部門、クラシックシニア部門、モダンジュニア1、2部門、モダンプチジュニア部門、モダンシニア部門に分かれ、全国各地から多数の舞踊手が参加、入場者数は延べ1500人。</li> <li>・「第46回神奈川県名流三曲祭」（共催）。県内19団体に所属する演奏者のうち有資格者および同等の実力を有する33組が出演。</li> </ul> <p><b>【12月】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽堂で長く開催されている県民参加型公演、第47回クリスマス音楽会「メサイア」全曲演奏会を実施。出演は、小泉ひろし（指揮）、村元彩夏（ソプラノ）、上杉清仁（カウンターテナー）、中嶋克彦（テノール）、星野聡（バリトン）、長久真実子（チェンバロ）、宇内千晴（オルガン）、神奈川県合唱連盟（合唱／合唱指揮：松村努）、神奈川県ハーモニー管弦楽団（管弦楽）。</li> <li>・「音楽堂建築見学会vol.3」を実施。出演は、藤森照信（建築家・建築史家）、石田潤一郎（工学博士）、山本裕康（チェリスト）、諸田由里子（ピアニスト）。入場者数149人。</li> </ul> <p><b>【1月】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「音楽堂ニューイヤー・コンサート 中国の音でお正月！」を実施。出演は、姜建華（二胡）楊宝元（中国琵琶）王明君（笛子）郭敏（揚琴）孟曉亮（打楽器）安宅薫（ピアノ）ゲスト：西陽子（箏）横浜中華学校校友会国術団（中国獅子舞）。入場者数509人。</li> </ul>

		<p>【2月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「音楽堂建築見学会vol.4」を実施。出演は、内藤廣（建築家・東京大学名誉教授）、仲道郁代（ピアニスト）。入場者数329人。</li> <li>・「第36回神奈川県合唱フェスティバル“元気になる歌”」（共催）。神奈川県合唱連盟の主催で入場者数のべ700人。</li> </ul> <p>【3月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい聴衆の開拓を目的として平日昼間の時間帯に開催する“音楽堂マチネーコンサート”「波多野睦美 朝のコンサート」を実施。出演は、波多野睦美（メゾソプラノ）、山田武彦（ピアノ）。入場者数301人。</li> </ul>
4	文化事業(2)子ども・青少年への音楽体験を積極的に提案する企画を実施	<p>【10月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・横浜市内のアート系NPO団体との連携で実施している「横浜市芸術文化教育プラットフォーム」事業を、市内の2小学校で開催。①横浜市立西富岡小学校「パーカッションがやってきた」ワークショップ参加者5年生2クラス53名、発表会参加者234名、教員17名、保護者30名。出演と指導は神田佳子ほか2名。</li> <li>②横浜市立勝田小学校「越天楽に親しむ」ワークショップ参加者6年生3クラス90名、発表会参加者教員5名、保護者20名。出演と指導は中村仁美ほか2名。</li> </ul> <p>【11月-12月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度から事業の活性化と子ども・青少年の音楽体験を提供する目的で実施している「メサイア・未来プロジェクト」。今年度は県立海老名高等学校合唱部（15名）と県立大和西高等学校合唱部（4名）が参加し「ハレルヤ」、「終曲」に出演。プロの合唱指揮者と声楽を学ぶ大学院生による計4回にわたる指導を受け、本公演に臨んだ。入場者数は公演全体で888人。</li> </ul> <p>【1月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県立養護学校の子どもたちを対象に実施している「ふれあいアウトリーチ」を2校で開催。①県立瀬谷養護学校、参加者数：小学部児童（1年生～6年生）99名、教員 50名、計149名。中学部生徒（1年生～3年生）72名、教員 37名。②県立平塚盲学校、参加者数：午前の部 中学普通部15名、教員15名。午後の部、幼稚部・小学部18名、中学普通部15名、教員他35名、計68名。出演：神田佳子、ほか2名。</li> </ul> <p>【2月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建築見学会Vol.4に合わせて「子ども版建築見会」を実施。横浜市立本町小学校2年生111名が参加。ホール見学「音楽堂の謎・探検」（ホワイエ、バックステージ、舞台）、音響体験・ミニコンサート「ピアノの音と演奏を聴いてみよう！」を実施。出演は、仲道郁代（ピアノ）。</li> </ul>
5	文化事業(3)外部資金の確保に努める。	<p>■平成24年度外部資金獲得実績</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 法人賛助6,450千円、個人賛助240千円、その他企業協賛金等2,985千円。 ※財団全体での年間実績</li> <li>2. 助成金 計5,996千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化庁優れた劇場・音楽堂からの創造発信事業（5年継続の2年目）5,696千円</li> <li>・芸術文化振興基金（地域文化施設）300千円（音楽堂で聴く聲明）</li> </ul> </li> </ol>

#### 4 収支状況

(単位：千円)

		収入額				支出額	収支差額
		指定管理料	利用料金	その他収入	収入合計		
募集時の積算額 (参考)		177,782※			0		0
予算額	前年度	174,182	34,300	39,627	248,109	248,109	0
	上半期	76,695	17,148	19,777	113,620	113,620	0
	下半期	97,487	17,152	19,850	134,489	134,489	0
	今年度	176,175	34,600	38,016	248,791	248,791	0
	上半期	85,121	17,603	15,420	118,144	118,144	0
	下半期	91,054	16,997	22,596	130,647	130,647	0
下半期実績額	10月	9,642	3,304	2,011	14,957	22,276	▲ 7,319
	11月	13,123	3,417	6,394	22,934	15,117	7,817
	12月	21,202	3,443	189	24,834	23,254	1,580
	1月	12,544	1,075	383	14,002	16,445	▲ 2,443
	2月	12,287	3,344	2,623	18,254	16,660	1,594
	3月	22,256	4,717	12,710	39,683	51,271	▲ 11,588
	今年度 下半期合計	91,054	19,300	24,310	134,664	145,023	▲ 10,359
	前年度 下半期合計	97,487	21,051	37,034	155,572	161,747	▲ 6,175
	対前年度下半期比			③	-13.4%	-10.3%	
参考	今年度 上半期合計	85,121	17,601	13,619	116,341	105,978	10,363
	今年度 合計	176,175	36,901	37,929	251,005	251,001	4

注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しない。

※指定管理者募集時の募集要項において、平成23年度指定管理料の想定額として掲載したもの。

#### 収支状況に関する確認等

確認項目	該当	理由等
① 年間予算額における収支差額が0でない	×	該当なし
② 今年度下半期合計欄の収支差額が、収入合計又は支出額のうち低い方の額の1割以上増減がある	×	該当なし
③ 収入額又は支出額が前年度下半期比で3割以上増減がある	×	該当なし
④ その他特記事項		

<参考>

本施設について県が支出した（する）計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費等  
基本協定において、県が負担することとしている修繕費等：100万円以上

	金額（千円）	工事箇所・内容（金額）
上半期		
下半期		
合計	0	

今期に行った資本的な収入及び支出等の状況

	金額（千円）	内容
収入	0	
	0	
	0	
	0	
支出	0	
	0	
	0	
	0	
積立等	0（期首）	
	0（期末）	

- 1 収入：定期預金の取り崩し、借入れによる収入等
- 2 支出：車両の購入、施設の増改築、定期預金の積立て等
- 3 積立等：施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等

5 利用状況

	利用者数	前年同期利用者数	前年同期対比増減率
10月	19,780 人	22,646 人	▲ 12.7 %
11月	16,029 人	14,820 人	8.2 %
12月	11,119 人	12,105 人	▲ 8.1 %
1月	4,768 人	9,612 人	▲ 50.4 %
2月	14,770 人	15,141 人	▲ 2.5 %
3月	16,054 人	15,529 人	3.4 %

	目標利用者数	利用者数	前年同期利用者数	目標対比増減率	前年同期対比増減率
今年度上半期計	75,550 人	83,407 人	76,282 人	10.4 %	9.4 %
今年度下半期計	75,550 人	82,520 人	89,853 人	9.3 %	▲ 8.2 %
今年度合計	151,100 人	165,927 人	166,135 人	9.9 %	▲ 0.0 %

利用状況に関する確認等

確認項目	該当	理由及び対応策
① 今年度下半期の利用者数が前年同期比で1割以上増減	×	該当なし
② 今年度下半期の利用者数が目標利用者数を下回った	×	該当なし
③ その他特記事項		

6 苦情・要望等の状況

受付件数

下半期報告件数	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	電子メール	アンケート	
上段：報告件数 下段：報告件数のうち所管課受付分	3 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	78 ( 0 )	81 ( 0 )

(参考)

上半期報告件数	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	電子メール	アンケート	
上段：報告件数 下段：報告件数のうち所管課受付分	0 ( 0 )	2 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	141 ( 0 )	143 ( 0 )

7 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

分野	概要	対応状況
施設・設備	座席が狭い（9件）	建物構造上、改修が難しい。座面の修繕を段階的に実施し、座席自体の座り心地改善を図っている。
	エレベーター・エスカレーターを設置してほしい。（2件）	建物構造上、設置が難しい。丁寧親切にご案内するなどソフトで対応している。
職員対応		
事業内容		
その他		

## 8 事故や不祥事等の発生状況

発生日	事故等の概要	指定管理者の対応状況	原因・問題点 (指定管理者の課題を含む)
2月11日	お客様として来館された男性(80代)が、ホール内通路近くの階段を踏み外し転倒・負傷。	左顔面を通路床に打ちつけたため、本人の同意を得て救急車を要請し病院へ搬送。通院終了確認後、見舞金を給付。	既に階段のスリップ防止部分の色を目立たせるなど転倒防止対策を講じているが、特に高齢の来館者には安全に十分に留意するよう呼びかけ、注意を促す。

## 9 随時モニタリングの実施状況

該当なし

実施日 (事故発生日)	経緯・調査内容	調査結果 (指定管理者の課題の有無等を含む)
( )		
( )		
( )		

## 10 今期の実績を踏まえた評価、改善策等

○事業面では、韓国、中国の音楽を通じて日本の伝統から東アジアへと広がる音楽の魅力を伝える公演や、初の試みとして「朝のコンサート」を実施したほか、「メサイア未来プロジェクト」を今年度も継続して実施するなど様々な公演に加えて、子ども・青少年への音楽体験提供を目指してアウトリーチ活動等を実施しており、今後も文化芸術の鑑賞普及活動に努められたい。

○施設の管理運営面では、まもなく開館60年を迎えることから、設備・備品の老朽化が問題となっているが、細やかな保守点検・修繕により適切な対応がとられている。また、利用者視点での清掃モニタリングを実施し、業務の質や清潔感の向上が図られている。今後も、施設の保守・点検に万全を期すとともに、利用者にとって安全、快適なホールであるよう、適切な管理運営に努められたい。

○引き続き、音響の良さや建築史的価値を有する施設の特性を活かし、良質な音楽に触れる機会を提供するとともに、開館日や利用時間など可能な限り弾力的に対応するなど、利用者サービスの向上を図られたい。